

板状粘土を不定形に丸めた「形」から

—— 表現対象（モチーフ）を決め、化粧土で部分彩色して ——



表現内容の要素と発想の視点

- ・表現材料：テラコッタ粘土、化粧土
- ・造形要素（色／形／材質）：板状を不定形に丸めて化粧土による部分彩色
- ・表現技法：板づくり、貼りつけ、型押し、切り抜き、線彫り、化粧土による彩色、ほか
- ・表現様式：抽象形／具象形
- ・表現対象／主題：表現者が表現したいイメージを思考、追究、決定する

写真1「ちょっと 待つて！」
〔約1000℃焼成／無釉〕（高さ12 cm）

造形発想と表現について

抽象的な不定形の「形」から表現対象（モチーフ）や主題を思いつき（発想）、表現を追究していく造形活動である。

抽象的な不定形の「形」をつくるにはさまざまな方法が考えられるが、ここでは板状粘土を無意図的に丸める方法を使った。

約1 kgのテラコッタ粘土を1 cm程度の厚さに延ばし、板状粘土をつくる。板状粘土を抽象的な不定形の「形」に丸める。

不定形の「形」から自由に発想するには、他の人がつくったものを使うとよい。

無意図的な不定形の「形」、偶然にできた「形」から、表現対象や主題を思いつき、粘土をつけ

加えたり、描き加えたりしながら表現を楽しむ。また、表現を楽しみながら新たな表現対象や主題を思いつくこともある。

アクセントとして、どべを活用した白と赤茶の化粧土で部分的に彩色して仕上げた。

ここでは無釉で約1000℃で焼成した。

用具／材料

テラコッタ粘土（約1 kg）、楽焼用粘土（少々）、どべ／化粧土、酸化第二鉄の粉末／ベンガラ、粘土板、粘土べら、粘土切り針、敷布（綿布／麻布ほか）、なめし革、筆、カップ（どべ入れ／化粧土入れ）、雑巾、新聞紙、ほか

表現のプロセスと内容

●テラコッタ粘土を板状に延ばし、抽象的な不定形の「形」に丸める

- ・約1kgの粘土をハンバーグ状にしてから布の上に置く。
- ・ハンバーグ状の粘土を手の平で叩き、約1cm程度の厚さの板状に延ばす。粘土板の表面には布目がつく。(写真2)
- ・粘土の板を任意に抽象的な不定形の「形」に丸める。(写真3・4・5)

●抽象的な不定形に丸めた「形」から表現イメージを広げ、表現対象や主題を思いつく(発想する)

- ・不定形の「形」をさまざまな角度、視点からとらえてイメージを広げ、表現に結びつく可能性を探す。(写真6)
《自分が見つかった不定形の「形」を使っても、他の人が見つかった「形」と交換して表現し

てもよい。》

《形の面白さ、不思議さなどの造形的なイメージ、あるいは物語、文学的なイメージなどの発想がある。》

《表現対象として、具象的なものや抽象的なオブジェなどの可能性が考えられる。》

●表現したいおおよその対象や主題を決め、それに合わせて形を整える

- ・不定形の「形」を崩さない範囲で全体を修正したり、粘土の表面を革や布などできれいに整えたりする。(写真7・8)

●粘土をつけ加えるなど、イメージした表現対象や主題を追究していく

- ・表現したい対象や主題に合わせて、形を変えたり、つけ加えたりする。(写真9・10)
- ・粘土べらで線描きや型押しして模様をつけるなどする。(写真11・12)



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7

《型押しは、鉛筆やキャップなど、形が写せれば、どんなものでも使える。》

- ・粘土切り針で切り抜いたり、透かし彫りしたりする。(写真13)

《粘土の接続にはどべをつけ、しっかりと押さえて接続する。》

- ・完成した作品を生乾き状態まで乾燥させる。(写真14・15)

※生乾き：創作陶芸講座4／「板状粘土をレリーフに構成して！」参照

《作品を生乾きにするのは、化粧土ののりをよくさせるためである。》

●素朴な化粧土／どべ／泥状粘土をつくる

- ・ここでは「どべ／泥状粘土」を化粧土として使う。白く焼き上がる楽焼用粘土と鉄分を含み赤く焼き上がるテラコッタ粘土のど

べをつくっておく。

- ・テラコッタ粘土のどべには、酸化第二鉄の粉末／ベンガラを1割程度混ぜて赤茶の濃い化粧土にする。

《異なる色の化粧土／どべ／泥状粘土を塗り分けると白と赤茶の装飾的なコントラストが得られる。》

●生乾きの作品に化粧土／どべ／泥状粘土を部分的に塗ってアクセントにする

※化粧土の彩色：創作陶芸講座4／「板状粘土をレリーフに構成して！」参照

- ・白と赤茶のコントラストを考えながら化粧土を筆で塗って装飾する。(写真16)

●完成したら十分に乾燥させて焼成する

- ・ここでは約1000℃で焼成した。



写真8



写真9



写真10



写真11



写真12



写真13



写真 14



写真 15



写真 16

表現のバラエティ



写真 17 完成作品 「ラッキー スネイク」〔約 1000℃焼成／無釉〕（高さ 18 cm）



写真 18 完成作品 「ちょっと おじさん」〔約 1000℃焼成／無釉〕（高さ 19 cm）



写真 19 完成作品 「おーい！」〔約 1000℃焼成／無釉〕（高さ 10 cm）



写真 20 完成作品 「出てくる 出てくる」〔約 1000℃焼成／無釉〕（高さ 19 cm）



写真 21 完成作品 「親子」〔約 1000℃焼成／無釉〕（親／高さ 6 cm）



写真 22 完成作品 「姉妹」〔約 1000℃焼成／無釉〕（姉／高さ 18 cm）